

## 平成 28 年度 3 学期終業式あいさつ

平成 29 年 3 月 16 日

おはようございます。いよいよ春らしくなってきました。

さて、今日は1年間の締めくくりの日です。

締めくくりに当たって、皆さんに伝えたいことを3点お話しします。

一つめは、2月28日火曜日に行った42期生の卒業証書授与式で、卒業生代表として、この壇上で堂々と述べてくれた大田将之さんの答辞の一部を紹介したいと思います。

体育祭や文化祭といった大きな学校行事を通じて、様々な苦勞をして団やクラスが見事にまとまっていったことや、大きな達成感を得た経験をもとに、次のように語ってくれました。

「人と人が支え合い、協力することで誰も予想できないような大きな力を生み出すことができることを知りました。」

そして、在校生の皆さんにメッセージが送られました。

「長尾高校での日々を大切に過ごしてください。2年生は最高学年としてリーダーになり、1年生は初めて後輩ができて先輩になります。学校生活や部活動での自分自身を見つめ直して、さらに充実させて尊敬される先輩になってもらいたい。」

3年生、2年生となる皆さん、卒業生代表として述べてくれた大田さんの言葉を胸に刻んで、最高学年として、良き先輩として、精一杯力を発揮し、これからの高校生活を充実したものにしてもらいたいと思います。

また、在校生代表として卒業生を称えるメッセージを述べてくれた2年3組の荒谷航平君の送辞も良かった。落ち着いた堂々とした語り口調には私は感心しました。

あわせて、式の準備から後片付けに至るまで、生徒会やクラブの皆さん、大勢の生徒の皆さんが関わり、支えてくれました。

式が終わってから、退場してきた卒業生を長い列をつくって出迎え、教室へと卒業生を送り出してくれました。

そうした皆さんの温かい気持ちは、いつものことながらうれしく思います。  
本当にありがとう。

2点めは、わらしべ会さんから寄贈いただいた樹木のことです。

わらしべ会さんは、障がいのある方々を支援されている福祉施設ですが、本校は、部活動や文化祭などを通じて交流を続けています。特に吹奏楽部や柔道同好会の皆さんが施設で演奏や合同練習を行ったり、文化祭でのふれあいコーナーを通じて交流をしたり、そういった交流の記念として、桜やはなみずき、コブシの樹木を体育館入り口当たりの所と、グラウンドの南側の斜面に植樹いただきました。

生徒会の皆さんにも手伝ってもらいました。

これらの樹木が花を咲かせられるように、大切にしてくださいと思います。

そして、わらしべ会さんをはじめとする、地域とのつながりをこれからも大切にしていきたいでしょう。

最後に3点め、この一年間を振り返って、「できたこと」と「できなかったこと」を明らかにして欲しいと思います。

遅刻や欠席はどうであったか、身だしなみはきちんとできたか、授業は真剣に取り組めたか、取り組めなかったことは何なのか？ 行事、人間関係、部活動などについてはどうであったか、しっかりと振り返って欲しい。

「できていること」や「できるようになったこと」、自分でも「努力したなあ」「成長したな」と思えることには自信を持って、更に「改善できること」や「もっと努力できること」を探してください。

逆に、「できなかったこと」「十分努力できていないこと」については、次は「少しでもできるように」「努力できるように」と、決意を新たにして欲しいと思います。

特に、2年生も1年生も、自分自身の進路について真剣に考え、実際の行動を起こして欲しいと思っています。

今度皆さんとこの場でお会いする時は、平成29年度の新たなスタートの時です。

これから4月10日までおよそ25日。

この春休みの間に、どのような気持ちで新年度を迎えるのか、何を目標に、どのような1年にしようとするのか、しっかりと考えておいてください。

決意に満ちた皆さんと出会えることを、心から楽しみにしています。